

株主通信

〈第60期〉

平成26年7月1日から
平成27年6月30日まで

人と自然に調和する環境を創造する



株式
会社

武井工業所

株主の皆様へ

To our shareholders



平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第60期（平成26年7月1日から平成27年6月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と決算の状況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、何卒今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年9月

代表取締役社長 武井 厚

事業の概況

Business review

当事業年度におけるわが国経済は、海外景気の動向に懸念があるものの、大企業を中心に企業収益が堅調なこともあり、雇用・所得環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社が属する建設業界におきましては、公共投資は復興関連やインフラ整備などを中心に持ち直しの動き

が見られたものの、技術者・技能労働者の需給状況及び建設資材価格の動向について今後も注視が必要となり、不透明な経営環境が続いております。

このような経営環境のなか当社は、平成26年度を初年度とする「第三次中期経営計画」（平成26年6月期～平成28年6月期）において策定しました基本方針「ものづくりはひとつづくり」及び「品質は人質（じんしつ）」の理解と実践を全社員に浸透・推進することにより、製品・サービス両面での品質向上を図り、継続的な成長を目指してまいりました。

この結果、当事業年度の業績は、売上高4,794百万円（前期比4.1%減）となりました。利益面では、営業利益247百万円（前期比18.2%減）、経常利益215百万円（前期比21.5%減）、当期純利益は121百万円（前期比50.8%減）となりました。

次期の見通しにつきましては、当社の商圏においては平成27年度公共建設投資による資材需要は底堅く推移するものと予想されます。民間建設投資においても圏央道開通など交通ネットワークの進展を見据えた工場や物流倉庫などの建設に伴う資材需要が見込まれ、官民合わせて当事業年度と同程度の需要環境を想定しております。当社はバランスシートの圧縮など引き続き財務体質の強化を図りつつ、ハード・ソフト両面への積極的な投資を実施し、今後想定される市場環境の大きな変化への対応を本格的に開始してまいります。

以上により、売上高4,800百万円、経常利益195百万円、純利益75百万円を見込んでおります。

茨城県つくば市桜 宅地造成工事

製品：フリードレンVⅡ



ここ桜は、つくば市の東部に位置します。昭和62年に当時農村地帯であった新治郡桜村大字柴崎に都市計画事業を行うことが決定しました。その後、平成元年に全域が桜柴崎土地区画整理事業として開発され総面積65.7haの新しい街「つくばテクノパーク桜」として生まれ変わりました。

フリードレンVⅡをご採用いただいた今回の現場は、一丁目に位置します。独立行政法人都市再生機構が研究所用地として残していた場所でしたが、住宅分譲地として計画変更になり「ウェルネスシティつくば桜」となりました。開発面積は約6ha、区画数は163、数社の大手ハウスメーカーが競演するビッグプロジェクトです。敷地全体は周囲から1.5mほど高い地形となっています。全体を大きく二分するメインの道路と枝のように取り付く道路は、2kmにもおよびます。フリードレンVⅡはこれら道路の両側に使用され、製品の総延長は3.7kmを超えました。

製品の表面はエンボス加工を施したタイル模様になっています。この模様がインターロッキングブロックを敷き詰めた美しい歩道に見事に溶け込んでいます。

工事は、既に今年の7月に1工区と2工区が完成しており、残りとなる3工区は12月末に完成予定となっています。



フリードレンVⅡ

茨城県牛久市ひたち野東 宅地造成工事

製品：ウォルコン

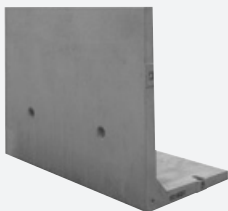


牛久市は、立像で世界第3位となる牛久大仏（全高120m）があることで有名です。また東京都心から50kmと、東京で働く人たちのベッド

タウンとしても知られています。今回の現場となる牛久市ひたち野東は、平成10年にJR東日本のひたち野うしく駅が開設される以前は野原でした。しかし、開設後はJR東日本と当時の住宅都市整備公団（現都市再生機構）などによる宅地開発が進められ、マンションが建ち始めると周辺には銀行や大型商業施設が次々とオープンして行きました。これに伴い一戸建て住宅の建設も盛んに行われました。今もその勢いは衰えず様々なデザインの個性的な建物の建設が進み、街が益々賑やかになっています。

ご紹介する現場は、大手ハウスメーカーが開発を行いました38区画、総面積9,100㎡の住宅分譲地です。ひたち野うしく駅から徒歩15分の場所となります。ここではウォルコンをご採用いただきました。この製品は高低差のある土地の土止めに使用します。L形状で縦壁が垂直のため、土地を最大限に有効活用することが出来ます。

ウォルコンは、製品高さが1m未満から3mまでと豊富なサイズをご用意しております。ここでは、その中から1.2mと1.5mサイズを分譲地北側の道路沿いに合計117mをご使用いただきました。



ウォルコン

茨城県常陸太田市 国道349号線太田南バイパス

製品：L型街渠ブロックⅡ型

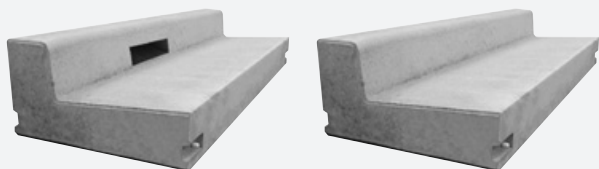


国道349号線は、茨城県水戸市から宮城県柴田郡柴田町に至る一般国道です。その中でも今回の現場となる太田南バイパスは、常陸太田市国道349号線旧道の東側に平行して走る道路です。平成11年に暫定2車線として開通し国道349号線の現道となりました。さらに、今年3月に約2km区間が4車線として供用開始となり現在に至ります。水戸市内から約16km、車で30分ほど走ると、県内第2位（他県を跨いでいない橋）となる幸久大橋（さきくおおはし）が現れ、程なく施工現場となるバイパスに辿り着きます。

ここではL型街渠ブロックⅡ型をご採用いただきました。この製品は歩道と車道を分ける縁石と、雨水を集水桝へと導くためのエプロンと呼ぶ平らな部分（正確には歩道側に6%勾配で下がっています）を組み合わせたL形状になっています。過去にはエプロン部分を現場打ちとしていましたが、現在では施工期間の短縮と景観性により、当製品のような一体成形のブロックが多く使用されています。

この道路は、歩道が車道より5cm高いセミフラットと呼ばれる形式

になっています。一定間隔で見える四角い孔は歩道～車道間を貫通しており、1段高くなった歩道部分の雨水を車道へと流す役目があります。ここでは、孔有り・無しの製品を交互に合計727mご使用いただきました。



L型街渠ブロックⅡ型

茨城県水戸市堀町 箱型函渠設置及び護岸工事

製品：SPブロック

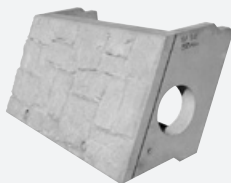


SPブロックの施工現場としてご紹介する場所は、水戸市内の主要な交通ネットワークを形成する幹線道路にあります。路線名は「赤塚駅水府橋線」で、赤塚駅から国道50・123・349号線と交差し水府橋へ至る道路です。

SPブロックは、駅から約1.8km北へ向かって進み沢渡川を渡る橋りょう部分にご採用いただきました。橋りょうの幅は約11m。他社製ではありますがこれ自体もプレキャスト製品です。当のSPブロックは、橋りょう本体を保護する目的で上流側と下流側の左右法面に使用されています。

この製品は、1個の寸法が縦1m×横2mで勾配1：0.5用の大型積みブロックです。ここでの積み高さは3m程度ですが、過去には他の現場において13mもの実績が有り土止め用として高い信頼を得ている製品です。石積みを模した表面はデザイン性も優れますが、それだけではありません。不均一な凹凸の面が太陽の光を乱反射させます。そのため、明度が下がり構造物が周囲の自然から浮き出し過ぎるのを和らげる効果も併せ持ちます。

ブロックの使用数量は、標準と寸法調整用の縦割1/2、横割1/2そして1/4の4種類合わせて111個、施工面積は214㎡となりました。



SPブロック

栃木県小山市稲葉郷 大手ドラッグストア新築工事

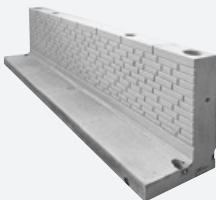
製品：シキール



ここ「小山駅東通り店」は栃木県小山市稲葉郷（いなばごう）に位置し、栃木県に本社を持ち「健康」をテーマに東北・関東・中部地方で301店舗（平成27年7月現在）を展開する大手ドラッグストアの店舗となります。取扱商品は多岐にわたり、医薬品をはじめ化粧品・健康食品・日用消耗品・インテリア雑貨・育児用品・軽家電、また生鮮食料品を除く一般食品などほぼ全ての生活用品を取りそろえています。

この現場ではフェンス基礎兼化粧付境界ブロックのシキールをご採用いただきました。上部に2箇所フェンス支柱取り付け孔を設けたL字形のブロックです。壁厚は150mmと重厚で、表面は前後共にエンボス加工を施した美しいタイル模様となっています。ここでは高さ3タイプの中から、0.5mタイプを38m、0.7mタイプを70mご使用いただきました。

従来このような塀は、熟練の職人がブロックをひとつひとつ積み上げて造っていましたが、しかし最近では若い人の現場離れが進み、ブロック積み職人も例外ではなく後継者がなかなか見つからない状況です。作業現場での人手不足が深刻となっている中、特殊な施工技術が不要で均一な仕上がりとなるシキールは益々脚光を浴びています。



シキール

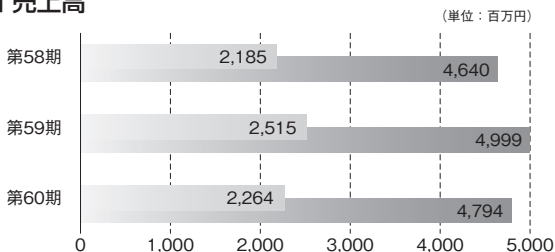
財務ハイライト

Financial highlights

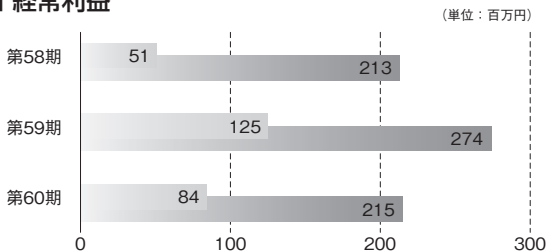
中間

通期

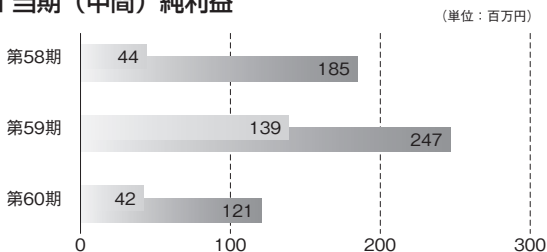
売上高



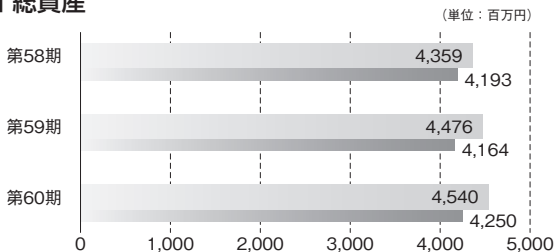
経常利益



当期（中間）純利益



総資産



Information

■部門別の状況

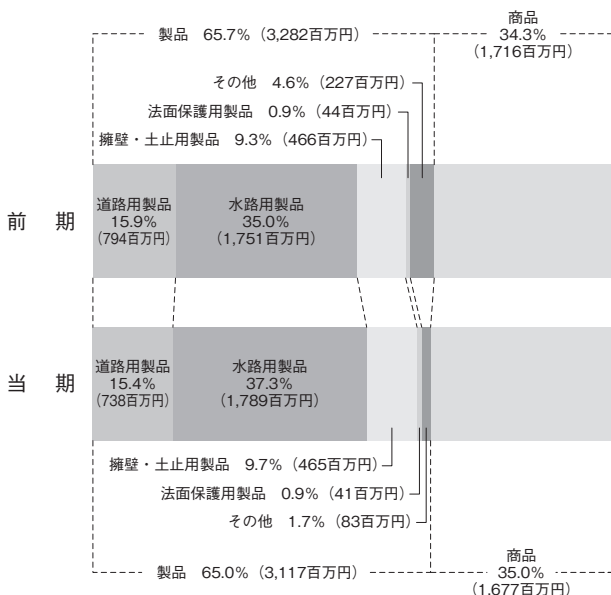
第60期における建設需要状況は、震災復興需要が一段落し、従来の下半期に工事が集中する傾向に戻りつつあり、自社製品の売上は、3,117百万円（前期比166百万円減）となりました。

内訳としては、道路用製品で738百万円（56百万円減）、水路用製品で1,789百万円（38百万円増）、擁壁・土止用製品で465百万円（1百万円減）、法面保護用製品で41百万円（2百万円減）となっております。

商品売上は、1,677百万円（前期比39百万円減）となり、自社オリジナル製品の生産を優先させるため仕入としていた汎用品製品を自社の生産体制へ切り替えたことが主な要因であります。

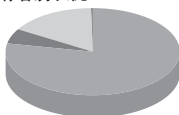
売上全体としては前期を下回りましたが、原材料の上昇分を販売単価に反映させるべく施策を全社一丸となって取り組み、前年比で5.8%の改善が図れました。

第61期につきましては、今後予想される構造物の維持・補修業務に向けた技術の習得と併せ、計画的な生産を実施し、当社の主力製品であるフリードレーンや区画割りブロックの新製品「シキール」を積極的に営業展開し、圏央道や2019年に開催が決定した茨城国体、さらに2020年に開催される東京オリンピックの需要を取り組みながら受注確保に努めてまいります。



■株式の状況 (平成27年6月30日現在)

- (1)発行可能株式総数 12,000,000株
 (2)発行済株式の総数 3,542,000株
 (3)株主数 508名
 (4)株主の所有者別状況



■ 個人
■ 金融機関
■ 一般法人
■ 自己名義株式

(5)大株主

株主名	当社への出資比率	
	持株数	持株比率
武井 泉	375,750株	10.62%
武井 昭	354,750株	10.03%
武井 勇	340,520株	9.62%
太平洋セメント(株)	242,000株	6.84%
武井 厚	202,000株	5.71%
武井 恒	184,000株	5.20%
武井 洋	183,000株	5.17%
(株) 双葉商會	157,000株	4.43%
武井工業所従業員持株会	127,000株	3.59%
(株) 常陽銀行	100,000株	2.82%

※持株比率は自己株式5,344株を控除して計算しております。

■株価の推移 (第60期下半期)

(単位：円)

年月	H27.1	H27.2	H27.3	H27.4	H27.5	H27.6
最高	140	-	-	150	180	180
最低	100	-	-	150	155	180
出来高(株)	3,000	-	-	3,000	10,000	8,000

取扱証券会社

EVOLUTION JAPAN証券会社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート12F

連絡先 03-4510-3350 (代表) 受付時間 9:00~17:00

※EVOLUTION JAPAN証券会社は平成27年3月16日に移転いたしました。

URL <http://www.evofinancialgroup.com/ejs/>

※水戸証券株式会社様及びSMBC日興証券株式会社様は、売りの取次ぎのみ行っております。詳しくは各証券会社にお問い合わせ下さい。

株価の確認

<http://www.takei21.co.jp> または

<http://www.evofinancialgroup.com/ejs/greensheet/>

■株主還元について

(1)配当金について

当社は、今後の事業展開に対応した財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を図りつつ、株主の皆様様に業績に裏付けられた安定的な配当の継続を方針としております。

(2)株主優待制度について

毎年6月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主の皆様に対し、日本穀物検定協会「お米の食味ランキング」でランクの「A」を獲得しました茨城県北部産のお米を、さらに厳選したコシヒカリ「天恵米(5kg)」を贈呈いたします。発送の時期は作況にもよりますが、毎年10月上旬から中旬を予定しております。



貸借対照表

(平成27年6月30日現在)

Balance sheets

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	1,789,732	流動負債	2,113,988
現金預金	183,452	支払手形	79,022
受取手形	375,379	電子記録債務	180,483
電子記録債権	59,644	買掛金	219,161
売掛金	591,114	短期借入金	992,000
商品	20,227	1年内返済予定の長期借入金	265,952
製品	464,011	未払金	208,248
原材料	40,991	リース債務	30,241
貯蔵品	26,116	未払法人税等	52,408
前払費用	14,449	未払消費税等	16,686
繰延税金資産	15,951	賞与引当金	24,500
その他	4,919	預り金	14,240
貸倒引当金	△6,523	その他	31,046
固定資産	2,460,691	固定負債	689,780
有形固定資産	2,312,424	長期借入金	425,954
建物	293,399	退職給付引当金	190,718
構築物	136,524	リース債務	64,747
機械装置	104,001	資産除去債務	8,360
車輛運搬具	246	負債合計	2,803,769
工具器具備品	83,737	純資産の部	
土地	1,605,433	株主資本	1,441,873
リース資産	89,082	資本金	522,323
無形固定資産	4,798	資本剰余金	389,632
実用新案権	226	資本準備金	389,632
電話加入権	4,572	利益剰余金	531,030
投資その他の資産	143,468	その他利益剰余金	531,030
投資有価証券	18,454	固定資産圧縮積立金	6,714
関係会社株式	10,250	繰越利益剰余金	524,316
出資金	12,010	自己株式	△1,112
会員権	39,744	評価・換算差額等	4,781
保険積立金	75,361	その他有価証券評価差額金	4,781
破産更生債権等	159,302	純資産合計	1,446,654
繰延税金資産	3,524	負債・純資産合計	4,250,424
その他	11,098		
貸倒引当金	△186,277		
資産合計	4,250,424		

(注) 1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 | 4,915,932千円 |
| 3. 担保に供している資産 | 1,721,260千円 |
| 4. 受取手形裏書譲渡高 | 314,407千円 |
| 5. 受取手形割引高 | 90,808千円 |

損益計算書

(平成26年7月1日から平成27年6月30日まで)

Statements of income

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	4,794,764
売上原価	3,546,233
売上総利益	1,248,530
販売費及び一般管理費	1,001,053
営業利益	247,476
営業外収益	
受取利息及び配当金	500
貸倒引当金戻入額	525
スクラップ売却益	3,790
受取事務手数料	1,344
その他営業外収益	2,109
	8,269
営業外費用	
支払利息	35,870
補修工事費	4,199
その他営業外費用	398
	40,467
経常利益	215,278
特別利益	
固定資産売却益	147
投資有価証券売却益	3,980
	4,127
特別損失	
災害損失	12,044
固定資産除却損	1,266
	13,311
税引前当期純利益	206,094
法人税、住民税及び事業税	80,595
法人税等調整額	3,698
	84,294
当期純利益	121,800

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成26年7月1日から平成27年6月30日まで)

Statements of changes in net asset

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計		
			固定資産 圧縮 積立金	繰越利益 剰余金			
当 期 首 残 高	522,323	389,632	6,653	492,179	498,832	△1,112	1,409,675
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額	-	-	-	△80,761	△80,761	-	△80,761
会計方針の変更を反映した 当 期 首 残 高	522,323	389,632	6,653	411,418	418,071	△1,112	1,328,914
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当	-	-	-	△8,841	△8,841	-	△8,841
当 期 純 利 益	-	-	-	121,800	121,800	-	121,800
固定資産圧縮積立金の積立	-	-	322	△322	-	-	-
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-	△261	261	-	-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	-	-	-	-	-	-	-
当 期 変 動 額 合 計	-	-	60	112,898	112,958	-	112,958
当 期 末 残 高	522,323	389,632	6,714	524,316	531,030	△1,112	1,441,873

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当 期 首 残 高	4,839	4,839	1,414,515
会計方針の変更による 累 積 的 影 響 額	-	-	△80,761
会計方針の変更を反映した 当 期 首 残 高	4,839	4,839	1,333,754
当 期 変 動 額			
剰 余 金 の 配 当	-	-	△8,841
当 期 純 利 益	-	-	121,800
固定資産圧縮積立金の積立	-	-	-
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-	-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△57	△57	△57
当 期 変 動 額 合 計	△57	△57	112,900
当 期 末 残 高	4,781	4,781	1,446,654

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

役員

(平成27年9月25日現在)

Board of directors and auditors

代表取締役社長	武井	厚
常務取締役管理本部長	横田 一	人
取締役製造本部長	金澤	隆
取締役営業本部長	岡本	仁
常勤監査役	鷹啄 英	昭
監査役	山根	節
監査役	古川 史	高
執行役員営業副本部長	萩原 秋	生

(注) 監査役 山根節、古川史高は、社外監査役であります。

会社の概要

(平成27年6月30日現在)

Company information

商創設資本	号業立金	株式会社 武井工業所	
		昭和14年7月	
		昭和31年4月	
		522,323,400円	
		発行可能株式総数	12,000,000株
		発行済株式総数	3,542,000株

事業所等	本社工場	茨城県石岡市若松一丁目3番26号
		明野工場(茨城県筑西市)
		小川工場(茨城県小美玉市)
		岩瀬工場(茨城県桜川市)
		栃木工場(栃木県下野市)
営業所		東関東営業部広域営業課(本社内)
		〃 茨城営業課 水戸営業所(本社内)
		〃 〃 つくば営業所(本社内)
		〃 〃 鹿行営業所(茨城県小美玉市)
		西関東営業部広域営業課(栃木県下野市)
		〃 栃木営業課()

従業員数	220名(男 196名、女 24名)
------	--------------------

株主メモ

Note for shareholders

- 事業年度 7月1日～翌年6月30日
- 定時株主総会 毎年9月中
- 配当金受領株主確定日 1. 6月30日
2. 中間配当を実施する場合は
12月31日
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- (お問合せ先)
(郵便物送付先) 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 公告の方法 電子公告
(やむを得ない事由がある場合は日本経済新聞)
- U R L <http://www.takei21.co.jp/>

(注)

1. この株主通信は、第60期の事業の概況等をお知らせするものであり、株主総会の招集、配当金のお支払い等はございません。
2. 株券電子化に伴い、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。
3. 特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書)等のご請求につきましては下記の三菱UFJ信託銀行の電話並びにインターネットにより24時間受付けております。
電話(通話料無料) 0120-244-479 (24時間受付:お手続き用紙ご請求専用)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>



本社 〒315-0018
茨城県石岡市若松一丁目3番26号
電話 0299-24-5200(代表)
<http://www.takei21.co.jp/>

